

新たな府民意見について(主なご意見)

資料 4

総件数 12,272件(平成23年3月14日～12月7日分)
 前回以降の件数 1,299件(平成23年12月1日～12月7日分)
 メール、ホームページ問い合わせシステム : 160件
 電話 : 193件
 FAX : 4件
 来庁 : 45件
 署名 : 897件

※ 太字は前回以降の新しいご意見

◆反対意見: 1,296件

	(件)
住居・食物について	150
<ul style="list-style-type: none"> 安全な土地や食物がなくなる、風評被害が起きる 汚染されていない土地を新たに汚染することは被災地の支援にならない 観光客(特に外国人)が減る 産業や経済に打撃を与える(輸入をストップしている国もある) 	
放射性物質、放射性物質に汚染された廃棄物の安全性について	142
<ul style="list-style-type: none"> 低線量でも危険、放射能に閾値はない(閾値なし仮説) 放射能汚染は均一ではない、低濃度のもののみを分別することはできない セシウム以外の放射性核種による汚染も懸念される いったん汚染されると元に戻るのに膨大な時間がかかる、元には戻せない 世界的に見ても放射能汚染された廃棄物を焼却した例はない 東京都では災害廃棄物の受け入れを開始してから排ガスの測定を行っておらず、モニタリングできていない 東京都や千葉県では受入施設周辺の線量が上がっている 放射性物質を拡散させることは法的にも世界的にも禁止されている ドイツ放射線防護協会は現在の日本の政策は希釈禁止の国際的合意に反しており、国民の健康に害を及ぼすおそれがあるため、即刻中止するように勧告している 	
受入、復興支援について	109
<ul style="list-style-type: none"> 近隣府県にまで影響が出る 汚染が低い西日本では、受入を表明している府県もある(佐賀県武雄市は民意を汲んで受入を撤回した) 他の復興支援を考えるべき (被災者の受入と雇用、安全な食物の供給、処理施設増設のための資金や人材の投入等) 現地の立入禁止区域に専用の処分場を作り、埋め立てればよい(国は福島県の土地の買取を検討中) 	
健康被害について	77
<ul style="list-style-type: none"> 被災地や受入を行っている地域では健康被害が出ている 安全な基準を作っても、健康に対する影響はゼロではない 食品は避けることができるが、焼却による拡散は防ぎようがない 安心して子育てできない 子どもが将来がんや白血病になったり、奇形児が生まれるかもしれない 	
検討会議、処理指針について	58
<ul style="list-style-type: none"> 震災以前のクリアランスレベルで議論を進めるべき 線量限度を1mSv/年以下になるかで判断するということが、食品等による内部被ばくは含まれるのか 低濃度であっても何年間も大量の災害廃棄物を受け入れることになれば影響は大きくなる、総量で考えるべき 確率的数字で判断するのではなく、人命を第一に守ることを考えてほしい γ線以外も計測すべき 反対派、慎重派の有識者もメンバーに入れるべき 府民意見が反映されていない 府民意見が1万件以上あるなら、それを受けて課としての見解を検討会議で述べるべき 環境条件による周辺府県への影響等も含めたシミュレーションをすべき 大阪府内でも環境分野だけでなく幅広い担当課と総合的に検討すべき 一度受け入れると検討会議で決めた基準より高いものを受け入れるのではないか 	
処理処分について	53
<ul style="list-style-type: none"> 既存の施設で安全に処理が行える担保はない 焼却によって放射能の粒子は小さくなり、マスクやバグフィルタで防ぐことができない 放射能に対する設備対策や拡散防止対策は行うのか 緊急時の作業マニュアルは作るのか(バグフィルタがトラブルを起こしたときや、事故が起きたとき等) 測定ミスや測定漏れ等が起きるのではないか 作業員には保護具の準備や特別な教育を受けさせるのか 	
情報公開、周知について	34
<ul style="list-style-type: none"> 府民の意見を聞く場や意見交換会を設けてほしい 周知の方法についてHP以外にも検討すべき 府民のほとんどが知らない状態で決定する事由でない 住民投票をしてほしい 受入をはじめる前に処分場や処分方法を公表してほしい 	
国の基準や報道について	33
<ul style="list-style-type: none"> 震災以前の100Bq/kg(クリアランスレベル)から8,000Bq/kgに基準が緩和された理由が分からない 現在の基準は諸外国の基準と比較すると高すぎる、放射性廃棄物として扱うレベルである 報道されている国等が測定した結果は信用できない 	
責任について	17
<ul style="list-style-type: none"> 健康被害が出たときや資産価値が下がったとき、線量が上がったときに賠償責任を負うのか 責任は誰が取るのか、責任の所在をはっきりしてほしい 	
その他	12
<ul style="list-style-type: none"> 大阪都構想を実現するには経済、人、金は重要な要素であるが、受入により経済は衰退し、人は流出する(『大阪に人・モノ・金を集める』に逆効果ではないか) 現在の状況では放射能の影響や被害を判断しかねるので、数年間様子を見るべき 災害廃棄物の受入をすることで被災地の雇用を奪うことになる、交付金が被災地以外に流れてしまう 	

◆提案: 3件

主な内容	3
<ul style="list-style-type: none"> 汚染水処理装置が開発されているので導入を検討すべき 無酸素状態で熱処理セラミックスに閉じ込める手法ができていますので、焼却以外にも検討すべき EMを用いた除染を行えばよい 	

◆賛成意見: 0件